



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社JMS
コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 桂 龍司
(氏名) 末田 穰

TEL 082-243-5844

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,177	10.8	42	—	194	—	△92	—
2024年3月期第1四半期	14,600	2.2	△111	—	△73	—	△260	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,200百万円 (4.1%) 2024年3月期第1四半期 1,153百万円 (△24.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△3.77	—
2024年3月期第1四半期	△10.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	83,592	41,744	49.7
2024年3月期	84,709	40,747	47.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 41,561百万円 2024年3月期 40,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	8.8	250	—	250	—	100	—	4.08
通期	70,000	7.2	800	—	800	448.0	400	—	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	24,733,466 株	2024年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	251,493 株	2024年3月期	251,493 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	24,481,973 株	2024年3月期1Q	24,449,081 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（会計方針の変更に関する注記）	8
（セグメント情報等の注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、日本国内においては、薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が堅調に推移したほか、薬価及び診療報酬改定の影響によりプレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品の販売が増加しました。海外においては、主力の成分献血用回路や血液バッグに加え、前期に事業譲受した白血球除去フィルターが売上を伸ばしました。

以上の結果、売上高は、円安による円貨換算額の増加も加わり、前年同四半期に比べ15億76百万円増加の161億77百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

利益につきましては、原材料費の高騰や製造経費等の増加はあったものの、主力製品の伸長や前期から進める価格転嫁などの増収効果により、営業利益は42百万円（前年同四半期は営業損失1億11百万円）となりました。また、持分法による投資利益や為替差益の計上などにより、経常利益は1億94百万円（前年同四半期は経常損失73百万円）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は92百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億60百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

医療用手袋の販売が減少したものの、プレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品及び薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が堅調に推移したことに加え、中国向けの血液透析事業に係る販売が増加したことにより、売上高は107億5百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により、2億52百万円（前年同四半期は64百万円の損失）となりました。

(シンガポール)

北米向け成分献血用回路やアジア及びアフリカ向け血液バッグの販売が増加したほか、円安による円貨換算の増加も加わり、売上高は57億38百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果はあるものの、原材料費の高騰や労務費の増加もあり、40百万円（前年同四半期は59百万円の損失）となりました。

(中国)

市場成長による継続的な需要の拡大を受け、A V F 針（血液透析用針）や人工腎臓用血液回路、血液透析装置の販売が堅調に推移したことにより、売上高は10億10百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。また、セグメント損益については、設備投資に伴う減価償却費の増加により、36百万円の損失（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

(フィリピン)

アジア向け血液バッグや欧州向けA V F 針の販売が減少したものの、日本向け輸液セットや成分献血用回路の販売が増加したことにより、売上高は9億11百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、労務費や製造経費の増加により、1億49百万円の損失（前年同四半期は14百万円の利益）となりました。

(ドイツ)

欧州向けA V F 針や血液バッグの販売が減少したため、売上高は9億38百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響により、74百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

(その他)

中国向け白血球除去フィルターの販売が増加したことなどにより、売上高は11億52百万円（前年同四半期比13.3%増）となり、セグメント損益については12百万円の損失（前年同四半期は10百万円の利益）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億16百万円減少の835億92百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ19億18百万円減少の467億46百万円となりました。この主な要因は、借入金返済により現金及び預金が減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ8億2百万円増加の368億45百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21億82百万円減少の277億47百万円となりました。この主な要因は、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金が減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加の141億円となりました。この主な要因は、リース債務が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億96百万円増加の417億44百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上昇の49.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、2024年5月14日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,308	6,358
受取手形及び売掛金	18,298	18,647
商品及び製品	9,747	10,851
仕掛品	3,404	3,732
原材料及び貯蔵品	5,974	6,228
その他	961	935
貸倒引当金	△30	△7
流動資産合計	48,665	46,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,253	10,360
機械装置及び運搬具（純額）	9,304	9,427
その他（純額）	9,521	10,134
有形固定資産合計	29,079	29,921
無形固定資産		
のれん	315	315
その他	679	661
無形固定資産合計	995	977
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,081	6,037
貸倒引当金	△112	△90
投資その他の資産合計	5,968	5,947
固定資産合計	36,043	36,845
資産合計	84,709	83,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,774	9,056
短期借入金	6,396	5,574
1年内返済予定の長期借入金	7,966	5,873
未払法人税等	297	75
賞与引当金	1,039	650
その他	5,454	6,515
流動負債合計	29,929	27,747
固定負債		
長期借入金	11,067	10,912
役員退職慰労引当金	167	173
退職給付に係る負債	562	617
資産除去債務	323	342
その他	1,910	2,055
固定負債合計	14,031	14,100
負債合計	43,961	41,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,055	16,755
自己株式	△194	△194
株主資本合計	34,623	34,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	871
為替換算調整勘定	5,169	6,366
その他の包括利益累計額合計	5,949	7,238
非支配株主持分	174	183
純資産合計	40,747	41,744
負債純資産合計	84,709	83,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,600	16,177
売上原価	11,222	12,541
売上総利益	3,378	3,635
販売費及び一般管理費	3,489	3,592
営業利益又は営業損失(△)	△111	42
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	25	31
持分法による投資利益	—	102
為替差益	41	79
その他	35	25
営業外収益合計	104	242
営業外費用		
支払利息	43	79
持分法による投資損失	18	—
その他	3	12
営業外費用合計	66	91
経常利益又は経常損失(△)	△73	194
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	4	5
特別損失合計	5	5
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△77	189
法人税、住民税及び事業税	86	28
法人税等調整額	99	248
法人税等合計	185	277
四半期純損失(△)	△263	△87
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△260	△92

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△263	△87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	91
為替換算調整勘定	1,286	1,196
その他の包括利益合計	1,416	1,288
四半期包括利益	1,153	1,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,146	1,191
非支配株主に係る四半期包括利益	6	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,071	2,952	495	4	1,058	13,583	1,016	14,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	815	2,077	474	895	0	4,262	—	4,262
計	9,887	5,030	969	899	1,058	17,846	1,016	18,862
セグメント利益又は損失(△)	△64	△59	△4	14	132	17	10	28

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17
「その他」の区分の利益又は損失(△)	10
セグメント間取引消去	△60
持分法投資利益又は損失(△)	△17
その他の調整額	△23
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△73

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,855	3,612	608	10	938	15,025	1,152	16,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	850	2,125	401	900	—	4,278	—	4,278
計	10,705	5,738	1,010	911	938	19,303	1,152	20,455
セグメント利益又は損失(△)	252	40	△36	△149	74	180	△12	168

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	180
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△12
セグメント間取引消去	△101
持分法投資利益又は損失(△)	101
その他の調整額	25
四半期連結損益計算書の経常利益	194

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	901百万円	984百万円
のれんの償却額	3	9